

一般仕様書

令和5年度 長下施委第52号

長浜市下水道ストックマネジメント計画策定業務委託（ポンプ場施設）

第1章 総則

1.1 業務の目的

本委託業務（以下、「業務」という。）では、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象施設について、リスク評価を踏まえ、明確かつ具体的な施設管理目標および長期的な改築シナリオを設定し、点検・調査計画および修繕・改築計画を作成することを目的とする。

1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。また、情報を基に業務関係書類の作成にパソコン等の各種情報機器を用いる場合は、十分な情報セキュリティ対策を施し、各種業務情報の流出防止に万全の措置を講じなければならない。

1.7 履行体制の確保

本業務は、業務の性質上、下水道分野における公共資産のストックマネジメント手法を十分理解し、豊富な知識、経験を有した体制が必要となる。また、将来にわたるアセットマネジメント活動を継続的に維持していく観点が必要である。その上で、履行を十分確保できる体制を整え業務を行うこと。

1.8 公益確保の義務

受注者は、業務を行うにあたっては、公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することのないように努めなければならない。

1.9 提出書類

受注者は、業務の着手および完了にあたって、長浜市の契約約款に定めるもののほか、下記の書類を提出しなければならない。

- （イ）着手届 （ロ）工程表 （ハ）管理技術者届 （ニ）職務分担表
- （ホ）完了届 （ヘ）納品書 （ト）業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

1.10 管理技術者および照査技術者

- （1）受注者は、管理技術者および照査技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

- (2) 管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道）または上下水道部門（下水道））の資格を有する者とし、同種業務（下水道ストックマネジメント実施方針策定業務）を完了した実績を有する者でなければならない。
- (3) 照査技術者は、下水道台帳との連動、品質管理、評価についても実施する必要があるため、技術士（総合技術監理部門（下水道）または上下水道部門（下水道））の資格を有する者でなければならない。また、照査技術者は管理技術者を兼ねることができない。
- (4) 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.11 工程管理

受注者は、工程に変更が生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.12 成果品の審査および納品

- (1) 受注者は、成果品完成後に長浜市の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、長浜市の検査をもって、業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき、または協議を受けたときは、誠意をもってこれにあたり、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.14 証明書の交付

必要な証明書および申請書の交付は、受注者の申請による。

1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合、または本仕様書に定めのない事項は、長浜市と受注者の協議の上、これを定める。

第2章 実施方針策定一般

2.1 打合せ

- (1) 業務の実施にあたって、受注者は長浜市と密接な連絡を取り、連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 業務着手時および業務の主要な区切りにおいて、長浜市と受注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

2.2 実施方針策定基準等

実施方針策定にあたっては、長浜市の指定する図書および本仕様書の準拠すべき図書に基づき、実施方針策定を行う上で基準となる事項については、長浜市と協議の上、定めるものとする。

2.3 実施方針策定上の疑義

設計上の疑義が生じた場合は、長浜市との協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

2.4 実施方針策定の資料

実施方針策定の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

2.5 参考資料の貸与

長浜市は、業務に必要な下水道事業計画図書、土質調査書、測量成果書、下水道台帳、道路台帳、

T Vカメラ調査書または目視調査（潜行目視調査・マンホール目視調査）報告書および調書等の資料を所定の手続によって貸与する。

2.6 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

第3章 スtockマネジメント基本方針（ポンプ場）

ストックマネジメント基本方針（ポンプ場）は、長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進捗状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的として策定する。

3.1 施設情報の収集・整理

ポンプ場施設・のリスク検討、管理目標の設定、点検・調査計画および修繕・改築計画の検討に必要な施設情報の収集・整理、現地確認等を行う。

収集すべき資料は次のとおりとする。

(1) 施設情報収集・整理

(イ) 上位計画に関する情報の収集・整理

- ① 地方公共団体のビジョン
- ② 地域の将来計画
- ③ 下水道ビジョン等

(ロ) 関連計画に関する情報の収集・整理

- ① 下水道計画（全体計画、事業計画）
- ② 災害対策計画（地震・津波対策計画、浸水対策計画）
- ③ 合流改善計画
- ④ 地球温暖化対策計画等

(ハ) 諸元に関する情報の収集・整理

- ① 名称
- ② 設置年度および設置価格
- ③ 所在地
- ④ 形状寸法、形式、能力、容量、仕様等

(ニ) リスクの検討に関する情報の収集・整理

- ① 点検・調査結果
- ② 地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度
- ③ 施設の周辺環境条件等

(ホ) 点検・調査に関する情報の収集・整理

- ① 設計図書・竣工図面
- ② 施設状態（劣化の程度）
- ③ 維持管理履歴（点検記録、修繕記録、事故・故障記録、診断記録）等

(ヘ) 修繕・改築に関する情報の収集・整理

- ① 経過年数
- ② 標準耐用年数
- ③ 改築費用（または改築単価）

- ④ 緊急度、健全度等
- ⑤ 運転および水質記録等

(2) 現地踏査

既存の施設情報収集で得られた情報に基づき、特に地域特性、土地利用等の現地の状況確認が必要な箇所を対象として現地踏査により確認を行う。

3.2 リスクの評価

点検・調査および修繕・改築の優先順位等を設定するため、リスクを特定し、施設の重要度に基づく被害規模（影響度）および発生確率（不具合の起こりやすさ）を検討する。リスク評価では、以下の事項について検討する。

(1) リスクの特定

下水道事業者側に起因するリスクと起因しないリスクを抽出し、施設の点検・調査あるいは修繕・改築で対応するリスクを特定する。

(2) 被害規模の検討

ポンプ場施設において事故・故障が発生した時の被害の大きさを影響度とし、その評価方法を設定して被害規模を検討する。

(3) 発生確率の検討

ポンプ場施設における事故・故障の発生確率について、施設情報の蓄積状況等を踏まえて評価方法を設定した上で検討する。

(4) リスクの評価

点検・調査および修繕・改築計画の優先順位付けに必要なリスクの評価方法を検討する。選定したリスク評価方法を用いて、被害規模の検討と発生確率の検討結果に基づきリスクを評価する。

3.3 施設管理の目標設定

リスク評価を踏まえて、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の効果目標（アウトカム）及び事業量の目標（アウトプット）を設定する。

(1) 事業目標の設定

施設管理に関する目標としては、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）を設定する

(2) 事業量の目標設定

アウトカムを達成するための具体的な事業量の目標（アウトプット）を設定する。

3.4 長期的な改築事業シナリオの設定

改築に関する複数のシナリオの中から費用、リスク、執行体制を総合的に勘案し、最適な改築シナリオを設定する。

(1) 管理方法の設定

施設等の能力・設備の役割・状況等を勘案し、地方公共団体の特性に応じて管理方法を設定する。

(2) 改築条件の設定

最適な改築シナリオを設定するために、各施設の管理方法を考慮したうえで、目標耐用年数による改築時期や改築に必要な費用を設定する。

(3) 最適な改築シナリオの選定

リスク評価、施設管理の目標設定を踏まえ、地方公共団体の実情に応じて事業費の平準化を考慮した最適な改築シナリオを選定する。

(4) 長期的な改築事業シナリオのとりまとめ

4-1～4-3 の検討結果を長期的な改築事業シナリオとして取りまとめる。

3.5 点検・調査計画の策定

長期的な視点から頻度、優先順位、単位、項目について検討する。

また、実施計画では、事業計画期間を勘案し、概ね 5～7 年程度において、どの施設を、いつ、どのように、どの程度の費用をかけて、点検・調査を行うかを検討する。

(1) (基本方針) 頻度・項目の設定

点検頻度は、過去の点検項目・内容に準じた周期、過去の管理記録やリスク評価等を参考に設定する。健全度を評価するため調査項目を設定する。調査頻度は、定期的、リスクに基づく優先順位等により設定する。

(2) (基本方針) 単位の設定

点検単位は設備単位とする。調査単位は修繕、改築等、対策単位を設定する。

(3) (基本方針) 優先順位の設定

リスク評価結果に基づいて、優先順位を設定する。

(4) (基本計画) 対象施設・実施時期の検討

対象設備は、ポンプ場全般設備とする。点検時期は、設備の特性や執行体制を踏まえて設定する。調査時期は、予防保全による対策が検討できる時期とし、リスク評価に応じて、調査時期、頻度を決定して、効率的・効果的に実施する。

(5) (実施計画) 点検・調査の方法の検討

点検・調査方法は、点検・調査体制や各設備の調査単位および構造等を考慮して選定する

(6) (実施計画) 概算費用の算定

「対象施設・実施時期」および「点検・調査の方法」の検討結果を踏まえ、事業計画期間を勘案し、概ね 5～7 年程度の概算費用を算出する。

(7) 点検・調査計画のとりまとめ

(1) ～ (6) の検討結果を点検・調査計画として取りまとめる。

3.6 報告書作成

報告書作成では、収集した資料、各種検討内容を整理し、報告書として取りまとめる。

また、ポンプ場施設のストックマネジメント実施方針の概要版を作成する。

第 4 章 照査

4.1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

4.2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

4.3 照査事項

受注者は実施方針策定全般にわたり、以下に示す事項について、照査を実施しなければならない。

- (1) 情報収集の内容および課題の把握・整理内容に関する照査
- (2) 検討の方法およびその内容に関する照査
- (3) 計画の妥当性（方針、設定条件等）の照査
- (4) 上位計画、地震対策計画、浸水対策計画、合流改善計画等との相互間における整合性に関する照査

第5章 提出図書

5.1 提出図書

- (1) 提出すべき成果品とその部数は次のとおりとする。なお、製本はすべて白焼きとする。

図書名	形状寸法	提出部数
(イ) 報告書	A4	3部
(ロ) 点検・調査計画図	原図一式	白焼き 3部
(ハ) 修繕・改築計画図	原図一式	白焼き 3部
(ニ) 打合せ議事録	A4	3部
(ホ) その他参考資料	原稿	一式
(ヘ) 上記図書の電子成果品	CD-R または DVD-R	一式
- (2) 成果品の作成にあたっては、その編集方法についてあらかじめ長浜市と協議する。
- (3) 製本はすべて表紙、背表紙ともタイトルをつけ、直接印刷したものとする。

第6章 参考図書

6.1 参考図書

業務は、下記に掲げる 新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン（国土交通省）
- (2) 下水道施設計画設計指針と解説（日本下水道協会）
- (3) 下水道施設改築・修繕マニュアル（案）（日本下水道協会）
- (4) 下水道維持管理指針（日本下水道協会）
- (5) 下水道施設の耐震対策指針と解説（日本下水道協会）
- (6) 合流式下水道改善対策指針と解説（日本下水道協会）
- (7) 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（日本下水道事業団）

特記仕様書（ポンプ場施設）

1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「ストックマネジメント基本計画策定業務（ポンプ場施設）委託一般仕様書」（以下、「一般仕様書」という）の第1章1.1および1.2に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記一般仕様書による。

2. 業務の対象

(1) 委託箇所

(2) 委託対象施設

(イ) ポンプ場施設ストックマネジメント基本計画

ポンプ場施設	対象の有無等
マンホール形式ポンプ場	140箇所

(ロ) (イ)のうち修繕・改築計画：無

(3) 設計条件項目

設計条件項目表による。

設計条件項目表

作業項目		設計条件
施設情報の収集・整理	施設情報収集・整理	有
	施設情報の作成	無
	施設情報のデータベース構築	無
	現地調査	有
リスクの評価	リスクの特定	有
	被害規模の検討	有
	発生確率の検討	有
	リスクの評価	有
施設管理の目標設定	事業の目標設定	有
	事業値の目標設定	有
長期的な改築事業のシナリオ設定	管理方法の選定	有
	改築条件の選定	有
	最適な改築シナリオの選定	有
	長期的な改築事業のシナリオ設定のとりまとめ	有

点検・調査計画の策定	(基本方針)頻度・項目の設定	有
	(基本方針)単位の設定	有
	(基本方針)優先順位の設定	有
	(基本計画)対象施設・実施時期の検討	有
	(基本計画)点検・調査の方法の検討	有
	(基本計画)概算費用の策定	有
	点検・調査計画のとりまとめ	有
点検・調査の実施		無
修繕・改築計画の策定		無
関係機関への説明資料作成		無
照査		有
報告書作成		有
設計協議		中間打合せ3回
貸与資料	点検・調査データ	有（貸与形式：紙・電子データ）
	管路施設データ	有（貸与形式：紙・電子データ）
	維持管理データ	有（貸与形式：紙・電子データ）

補正項目の有・無

補正項目	有 ・ 無
設計対象数量にかかる補正	有
複数施設にかかる補正	無
沈砂池にかかる補正	有
工種別設計歩掛の割合	有

※ 令和5年3月改訂の長浜市ストックマネジメント計画（簡易版）
（令和5年度～令和9年度）による業務軽減あり。